

なごやか地域福祉 ニュース

2014. 8
第9号

発行：地域福祉に関する計画策定事務局

必要な支援が受けられない人がいることの問題

いま何が課題となっているのか。

・地域における生活課題・福祉課題は多様化し、既存の枠組みだけでは、解決できない問題が増えています。

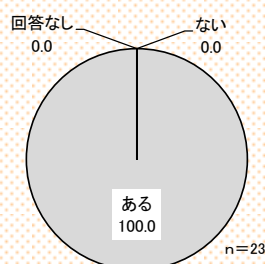


●制度だけでは解決ができない問題や複合的な課題を抱えた世帯への支援の問題

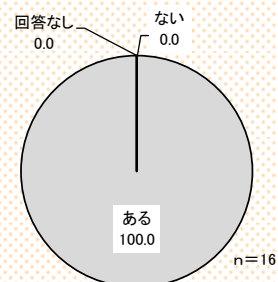
公的サービス（制度）だけでは解決できない問題や、高齢者、障害者、児童という対象別の枠組みだけでは、解決できない問題が増えています。例えば、日常のちょっとした困りごとなど、地域で生活している人にしか分からない事柄には、必要に応じて一人ひとりに合った支援が必要とされています。これらの困りごとには、従来地域での自然発生的な助けあいでも解決されてきたことも含まれています。また、介護が必要な高齢者と障害のある子どもの同居世帯で世帯全体への支援が必要な場合など、制度を当てはめただけでは解決できない問題もあるのです。

いきいき支援センター・障害者地域生活支援センター（平成25年度当時）へのアンケート結果

問 高齢者や障害者等で日常生活に支障のある人やそのご家族からの相談に応じて、介護保険や障害者総合支援法等既存の公的制度やサービスでは対応できなくて困ったことはありますか。



いきいき支援センター



障害者地域生活支援センター

第4回専門部会を開催しました。（7月22日午後2時から4時）



【主な議題】

・区社協地域福祉活動計画、計画の文案（素案）

【主な議論】

- 共生型の地域をどうつくっていくか
- 退職前勤労者への地域福祉活動の働きかけ
- 地域防災に関する記載のさらなる充実
- 生活困窮の地域における支援のあり方

公式ホームページでは、計画の策定状況を順次お知らせしています。

名古屋市地域福祉に関する計画

検索



専門部会委員からのメッセージ



～ちょっと気になること、大いに気になること～ 後藤桂一委員（市民委員）

私は、生まれてすぐ親を亡くし、激動の戦中戦後、極めて貧しい少年時代を過ごした。経済的にも、精神的にも。昼夜、アルバイトにつぐアルバイトで、なんとか“安い大学”を卒業、やっとマスコミに就職した。こんなことから、少しでも恵まれぬ人の役に立ちたい、と早期転籍し福祉団体に身を投じた。キャンプファイヤーで肩を組んだ自閉症児親子の笑顔が忘れられない。

これをベースに今、市民公募委員の一員として、市地域福祉計画・市社協地域福祉推進計画に取り組んでいるが、経験豊富な同僚委員に大いに触発されつつ、“福祉の奥深さ”を痛感する日々である。

さて、こんな中、特に気にかかることを2点あげたい。

- ① 大災害時の福祉対応・・・今、東海大地震が高い確度で予想される。東日本級の大震災が名古屋を襲った時、高齢者・障害者・病弱者・子どもたち等の福祉対応は一体どうなるのか？ 先の東北でも大きな課題を残した。早急に抜本的かつ具体的な対策の確立が求められる。
- ② 地域の福祉リーダーの高齢化・・・委員に選ばれ、いくつかの現場を見せていただき感じたのは、地域の福祉活動を支える現場リーダーの高齢化である。まさに老々介護である。一人暮らしのお年寄りのつぶやきが心に沁みる。“〇〇さんが動けなくなったら、誰が我々の面倒を見てくれるのだろう…” これからの担う若手リーダーの養成は、喫緊の課題である。

こんなことを自分自身の課題としつつ、及ばずながら、今しばらく、老骨に鞭打ちたい。



～「自分自身のこととして考える」ことが第一歩～ 佐々木淳行委員（市民委員）

地域福祉の問題が叫ばれるようになって久しいのですが、上手く進んでいる自治体や地域は増えてきましたが、大半の自治体や地域はなかなか前へ進んでいないのが現状のようです。地域福祉には、高齢者・障がい者・生活困窮者・子育て・防災というように、数多くの課題が絡んでおり、それがこの問題を難しくしている一因であると思われます。

この一つ一つの課題を見ていくと、それぞれ自分自身や自分の家族、親しい知人などに関わってくることだと気付かされます。人はいつか老いを迎えますし、いつ体や心に障がいを抱えるかもしれません。失業や家族の死などで生活に困窮する可能性も十分あります。そして、大規模災害は、いつ私たちが襲ってもおかしくない状況です。

地域福祉という言葉は少し捉えがたいイメージがありますが、そこに内在する個別の課題は、とても身近なものばかりです。このように、多くの市民が地域福祉を自分自身の問題として考えることができれば、自ずと前進していくように思われます。

社会的に弱い立場の方々が住み良い地域は、全ての市民にとって住み良い地域であると言えます。新たな地域福祉計画が策定されることにより、名古屋市が地域福祉のモデルと評されるよう発展することを望んでいます。



会議傍聴のお知らせ

「第5回専門部会」8月21日（木）午前10時～正午 場所：名古屋市公館

予定議題 地域福祉に関する計画の文案について ほか
(この会議は、5名まで傍聴することができます。当日受付午前9時から9時45分現地。)



【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会総務部

Tel 052-972-2547 / Fax 052-955-3367